

審判講習会

平成30年4月1日
広瀬体育館



平成30年度に向けた
審判講習会に各協会・チ
ームから108人が参加し
た。

開会式では、審判委員
長から「目立つのではな
く選手たちが如何にプ
レーしやすい環境づく
りが第一です。主審・副
審・線審が受け持つ範囲
を責任もって判定・・・」
等挨拶があった。

講師は、日本ミニテニ
ス公認審判員の阿部勝
彦氏。主審は、競技に関
する全ての責務を持ち、
受持つコートにおいて
最も重要な役目を果た
す。特に大きな声、大き
なハンドリングは選手
からの信頼を得る。サー
バーの失ポイントやプ
レー中の失ポイント・審
判員に対する抗議権な
ど等詳しく説明があつ
た。質疑応答も活発に行
われ、主審、副審、線審
の明瞭な判定の重要さ

を実感したようだ。

続いて丹野克之理事
長から対戦票記載・記録
表記載方法など等説明、
相互審判相互運営の当
協会、大会前には競技規
則や記録記載例等復読
しておくこと審判や記録
記入等がスムーズでき
る等の指導があった。
午後からはコート設



れて主審・副審・線審の
順にこなし15...30に閉
会した。



(仙台市 渡辺 勝利)



仙台市民総合体育大会

会場：カメイアリーナ仙台
日時：H30.4.22

には大会会場が出来上がった。9...50各部一斉にプレーボール。



「今大会から4部制を導入し、公式6大会で部毎2試合対戦するリーグ戦となった。」
午前9...00一斉にコート設営、写真右9...20

仙台市民総体第22回

ミニテニス大会がカメイアリーナ仙台に345名が参加盛大に開催された。



1部優勝 ミントAチーム

部毎優勝チーム



称を荒
闘を連
健康を
お互い
え合う、
町の両
チーム

「試合は各部とも予選からヒートアップ。フルセットにもつれる試合が続出した。(4部制の影響か)卓越したスピードに加え広い視野から繰り出す多彩な攻防に、応援団から幾度となく歓声上がる。そんな雰囲気にもコート上では選手たちの汗と笑顔が飛び交っていた。」



4部優勝 松陵Aチーム



3部優勝 高砂チーム



2部優勝 大和Aチーム

16...30試合終了
(仙台市 渡辺 勝利)

MT春季大会



休の真つ只中家庭サー
ビスを回避しての参加
テッペン目指し頑張り
ます・・・」の宣誓に館
内は和やかな雰囲気
に包まれた。

大会は4部制、7ポ
イント3セットマッチ4
試合を行い各部優勝・準
優勝が表彰される。



仙台市ミニテニス春
季大会は平成30年5月
4日、宮城野体育館で開
催された、ゴールデンウ
イークの中日参加数が
懸念されたが49チーム
334名がエントリー盛会
に開催された。

開会式では、写真上丹
野克之理事長から連絡
等報告後、JOYチーム
二瓶文雄選手は「大型連



写真上は、2部男子ダブルス戦、遠見塚一富沢、互の声援に勇気をもらい、強烈なサーブ
やスマッシュ、真直ぐ戻る変化球など等ミニテニス特有の技を駆使し、効果的に攻め合う
プレーは迫力があり応援団を魅了する攻防はあっぱれだった。(仙台市 渡辺 勝利)



4部 優勝
松陵Aチーム

3部 優勝
西山Aチーム

2部 優勝
南小泉Aチーム

1部 優勝
七郷Aチーム

仙台市ミニテニス協会
シルバーエイジ&レディース大会



思い切り楽しもう
とガッツポーズ!!

チーム編成は事務局一任、選手たちはどのチームになるのか(°_°;)ハラハラ(;°_°)チームが決まるとリーダーを決め作戦会議だ。5試合のパートナーも決まりやる気が漲っていた。



チーム毎の作戦会議

コート設営も全員で

受付開始



優勝
Lチーム

試合は初回からヒートアップ、強烈なサーブやスマッシュ、ミニテニス特有の全ての技を駆使しての攻防は女子ながら天晴れだ。15:00 閉会式みんなが満面の笑顔だった(仙台市 渡辺)

全国ミニテニス親善仙台大会(団体戦)



会場：カメイアリーナ仙台
日時：H30.7.1



仙台市スポーツ振興事業団常務 武田均氏は、ようこそ杜の都仙台へのご祝辞

選手宣誓では

小林寿選手「私たち選手一同は」大山真知子選手



「シニアでも若者に負けない、闘争心はハンパなく」金勝選手「ケガにも、たとえ負け試合にも笑顔を忘れず」清水秀子・勝田保久選手「全ての仲間と親睦を深め合い頑張ることを誓います」工藤サヨ子選手「平成三十年七月一日選手

代表秋田YYSK」最後に一人ひとり自分の名前をフルネームで誓った。

ユニークな選手全員での宣誓に会場は温かい雰囲気包まれた。

大会は、A部門Ⅱフリー(4ブロック)、B部門Ⅱ60才以上(2ブロック)予選、決勝とも6ポイント2セットマッチ。ブロック毎上位2チームが決勝トーナメント戦に進出する。

今年で7回を数える全国親善仙台大会。応援も試合も一段とヒートアップする。この日も手に汗握る好試合が随所に見られた。

「スポーツをするからには強くなりたい。勝ちたい」は勿論。年代を超えて楽しみを分かち合える仲間が集い心地よい汗を流すことにも意義があるのでは？



秋田県ミニテニス協会副会長の山谷康太郎選手(能代チーム)は、若者相手に強烈なサーブやミニテニス特有の技を駆使し翻弄、予選を突破した。



仙台の気温は31度、館内は選手たちの熱気で33度位、日頃の鍛練とこまめに水分補給で熱中症対策は磐石だ。写真左から、TNB安藤大樹選手の高いティークバックからの強烈なサーブ。中、48チーム、サウスポー島影愛選手の力強いスマッシュ。右、ハイスタチーム、高橋みのり選手のサイドラインを狙った巧みな技。



A部門優勝 ジミー・こがーズチーム
写真中央、古賀昭則監督は「3年連続決勝戦進出での初優勝、チームメートや若手選手の活躍です」と仲間を褒めた。

B部門優勝 んだっちAKITAチーム
写真中央、矢島友喜選手は「思ってもいない優勝非常に嬉しい。チームが一丸となったのが勝因」と流れる汗を拭った。

写真右から、(仙台市スポーツ振興事業団常務理事 武田均氏)(当協会 参与 木村勝好氏)(同古山健造氏)(秋田県協会 副会長 山谷康太郎氏)(同 伊藤正治氏)(ポパイ代表 森美智子さん)(山形市協会会長 田中 紘子さん)

試合での交流、ドリンク喫茶での情報交換など等有り難うございました。(仙台 渡辺勝利)



仙台市ミニテニス協会
平成30年度 夏季大会



しろいしチーム 高橋輝美夫選手は『我々選手一同は、日頃の練習の成果を十二分に発揮し「ハンパねえ」と言われるようなプレーを披露できるよう全力で戦うことを誓います。』との宣誓に会場は和やかな雰囲気にも包まれた



7月15日、夏季大会に50チームがエントリー、カメイアリーナ仙台市体育館に選手たちが続々と集結、受付終了後参加者全員でコート設営を行った。



富沢一条選手の強烈なサーブ

公式大会は4部制、部制毎年2回対戦するリーグ戦による年間表彰、他に大会毎の表彰も行う。
試合は7ポイント3セットマッチ4試合を行う、年間の勝敗率による昇降格があるので、選手たちは昇格を目指し楽しみながらも勝負どころではシツカリとポイントを狙っているようだ。



一部 優勝の大和Aチーム
荒木・小林の両選手

全ての技を駆使しての攻防、応援団も手に汗する熱戦に敵味方なく歓声が飛んでいた。



4部 優勝 松陵A

3部 優勝 西山A

2部 優勝 南小泉A

1部 優勝 大和A

若林区民ふるさとまつり
スポ・レク・フェスタ



午前9時、選手
 全員によるコート
 設営、いつも
 協力に感謝感謝

選手を目指す孫と一緒に
 会場は和やかな雰囲気
 につつまれた。
 試合は年間成績によ



・とご祝辞があった。
 選手宣誓では将来の



スポ・レクフェスタ
 ミニテニス大会は、平成
 30年9月23日、若林区
 育館に50チーム342人
 が集結した。
 開会式では、若林区ま
 ちづくり協議会佐藤康
 浩副会長は
 スポーツを
 通して親睦
 と友情を・

を發揮しての攻防に会
 場は大きな声援が飛び
 交っていた。



る4部制、7ポイント3
 セットマッチ、4試合を
 行い、勝敗率・得失点率
 等で優勝が決定する。
 選手たちは持てる力



1部 優勝 荒浜A 2部 優勝 南小泉A 3部 優勝 にしやんA 4部 優勝 パインA

仙台市ミニテニス協会

秋季大会



仙台市青葉体育館

H30年11月23日



連坊チーム 齋翔太選手 勝っても負けても力を120%発揮した

- 1部 優勝 荒浜 ミントA 準優勝
- 2部 優勝 桜B 準優勝 南小泉A
- 3部 優勝 西山 準優勝 六郷
- 4部 優勝 松陵A 準優勝 れもん

大会は4部制、各部毎年2回総当たりリーグ戦で年間王者を決定する。試合は、7ポイント3セットマッチ4試合を行う、年間の勝敗率による昇降格が決定する。プレーは予選からヒートアップ。フルセットにもつれる試合が続出。好プレーや珍プレーにイズ・ドンマイドンマイと選手たちは温かい声援を背中にかけていた。



七郷 古賀選手の強烈なバックハンドスマッシュ。



荒町一桜 女子ダブルス戦。手に汗する攻防は観衆を魅了した。

る競技委員会理事。ご協力有り難うございました。
(仙台市 渡辺 勝利)



担当の荒町チーム。大会受付を行っている



相互運営・・・ボール

仙台市スポーツ振興事業団/主催 平成30年度ミニテニス実技講習会/若林体育館



生涯スポーツ、ミニテニスの実技講習会が平成31年1月12日、若林体育館で開催され、仙台市内外から愛好者80人が参加されミニテニス特有の技術と楽しさを学んだ。

講師には、仙台市ミニテニス協会役員・理事「日本ミニテニス協会公認指導員」が担当した。丹野克之理事長が全体の指導に当たり「グリップの握り方・フットワーク・フォアハンドストローク・バックハンドストローク・カット・スライスボール・サーブ」など等実演後、8コートに分かれ体験した。

「今日は、講習会に多くのミニテニス愛好者の皆さんにご参加頂き有り難うございます。今日は、スポーツの楽しさとミニテニス特有の技術学んでください・・・」とご挨拶があった。



開会式で、若林体育館高橋浩二館長(写真左)



今回学んだ技を大会で発揮できればと願う。仙台市スポーツ振興事業団のご配慮により第5回実技講習会は成功裏に終了、感謝・（仙台市 渡辺勝利）



スイングでは、「テークバックからのインパクト後ラケットを振り切る」体幹活用で強い打球につながる。などを体験し、後半は応用練習「試合形式」を行った。

仙台市ミニテニス協会 冬季大会



仙台市若林体育館



平成31年1月27日(日)



熱戦を展開する 遠見塚A—ミラクルK

1部〜4部
51チーム



練習の成果を発揮し
正々堂々とプレーしま
す・・・と宣誓。



白熱した戦いを展開し
ていた。



が熱戦を展開した。
平成30年度リーグ戦
最後の大会、今大会で部
制昇降格が決定すると
あって、どのチームも持
てる力を100%発揮
し、追いつ追われつ



4部優勝
(松陵Bチーム)

3部優勝
(沖野Aチーム)

2部優勝
(古城Aチーム)

1部優勝
(連坊Bチーム)

仙台市ミニテニス協会説明会

会場/ 若林市民センター
日時/H31年2月10日



平成31年度事業運営に向けた説明会に、34団体の会長や理事長さんたち51人が出席し開催された。部制の昇降格発表、会員登録、大会日程、第23回大会までの流れ、31年度大会要項、競技上の注意点の説明後、意見等交換され、出来る事とできない事、即できる事と時間の要することなど等審議され、有意義な説明会だった。

三部優勝 西山A
四部優勝 松陵A
リーグ戦優勝チームは、部の昇格が決定、上部での活躍を心に秘め



説明会に先立ち、平成30年度公式6大会の2回戦う「総当たりリーグ戦の表彰が行われた」。
各部 優勝チーム
写真右から
一部優勝 ミントA
二部優勝 南小泉A



説明会終了後恒例の新年会が開催された。木村勝好参与から新年のご挨拶のあと古山健造参与の乾杯があった。各協会、各チームから80名が出席、各協会会長から新年度に向けた抱負など等の挨拶があり、わいわいガヤガヤと宴会も盛り上がり、親睦の輪・友情の和を広げることができた。



シルバー&レディース大会



仙台市ミニテニス協会の「シルバー&レディース」大会が平成31年2月16日、仙台市宮城野体育館で開催された。16チーム、7ポイント3セットマッチ、1チーム5試合を戦う団体戦。チーム編成は当日発表、チーム毎自己紹介から始まりオーダー編成だ。



今大会も多くの愛好者が集い、ミニテニス大会は、健康維持や仲間づくりなど交流の場として参加者から好評を得ている。



毎回参加しているB子さんは「クラブの異なる方々とのチーム編成、自分たちでオーダー作成し試合に臨み、楽しくプレーできて最高、次回の大会が待ちどろしい」とありがたい言葉をいただいた。



るのが何よりも嬉しい。